

## AMNET (アメニティネットワーク) 焚き火の今後について

楽籠 OB 会は近い将来[高齢化][肥大化]し、[資金不足]と[OB 会上下全体の繋がり弱体化]を招くことが懸念されることから、『その対策を我々 2 期が中心となって進めてみよう』と、以下 3 項を目標課題とし、3 年間を初期活動の目処に H 1 5 年「焚き火」を創設しました。そして企画実施を即断する必要性や営業活動を伴う事が予想されるなどのことから OB 会内でなく、会の衛星的組織として H 1 6 年春の総会で承認されました。目標課題は、

( 1 ) OB 会の上下関係が疎にならないよう全ての OB 間のつながりを強化する。

まず [「OB 間の仲介役・お助けマン」AMNET 焚き火]設立から活動を開始。  
更に地方 OB の活躍を紹介しながら全楽籠 OB が参加可能な[楽籠市場]実施。  
楽籠 OB がいつも集まるたまり場[都会小屋]の創設構想。 など

( 2 ) OB 会の資金不足に陥ったときこれを補う。

[AMNET 焚き火]が OB 会へ資金補助できるだけの収益を確保する。

( 3 ) OB の高齢化に対処する。

高齢 OB に対しての精神的 ( 活力ある生活 ) 支援・金銭的 ( 会合費の補助等 ) 支援をして、[いつまでも楽しい楽籠 OB 会]を目指す。

「焚き火」には 2 期だけでなく何人かの OB も加わり、課題 の「仲介相談事業」を柱に、および ( 2 ) ( 3 ) 達成のための資金づくりを「楽籠市場」や「個別営業」等での収益に求め活動しましたが思うような実績を上げることが出来ませんでした。( 実績別記 )

これは、活動の仕方の問題かもしれませんが、結局 OB の中に考え方が深く浸透せず、理解者や協力者の幅を広げられなかったことが一因といえます。しかし、これ以上のことは現在の我々には時間的にも能力的にも無理がありました。

更に最近「単なる金儲けでは?」「OB 会を利用しているのでは?」等の疑問の声も耳にするにつけ、これ以上 2 期が主役となって活動すること自体が焚き火活動のマイナスになる、また 2 期自身も時間的余裕がなくなってきたので、活動の休止も視野に他の焚き火スタッフと相談した結果、『焚き火の活動主旨には賛同できるので、その主旨を受け継ぎ中心スタッフを中堅 OB に刷新し継続する』との結論を得ることができました。

新スタッフは前記の目標課題を活動目標とし ( 1 ) の ~ の担務を次の如くに刷新。即ち、 を OB 間無料カウンセリングとし[高山+ 。( 登録名簿管理 ; 長谷川 + 若手 ) ]、 を [内田、竹内+ ( 経理上の問題の検討 小島・葛巻 ) ]、 を [青木+ ]。そして【現在の AMNET 焚き火組織でなく、楽籠 OB 会組織内の活動と位置づける】ことを希望していますので、楽籠 OB 会皆様のご理解と承認をお願いいたします。

以上

2 0 0 7 年 2 月 2 期 氏家 : 小谷 : 葛巻 : 湯浅

[AMNET 焚き火活動 3 年間実績] (2007/1/末 現在)

1、アムネット焚き火 (仲介相談事業)

相談者としての登録OB数	95件
個別相談件数	9件
主な相談内容	・コンサルティング依頼 ・講演会講師の派遣 ・販売ルート紹介相談 ・人材募集

\* SO支援要請は「焚き火」経由でOB会活動となる

収入 2万円

2、楽籠市場

第1回	申し込み件数	21名	手数料収入	22,002円
第2回		39名		59,917円
第3回		32名		101,943円
第4回		33名		101,770円
第5回		33名		61,627円 (未収有)

3、3年間収支 (2007/1/31 現在)

単位：円

H16年度	収入	242,002	支出	94,819	収支	147,183
	OB会補助	200,000	印刷発送費	60,900		
			通信費	16,530		
			事務費雑費	17,389		
H17年度	収入	285,060	支出	302,491	収支	17,431
	OB会補助	100,000	印刷発送費	240,345		
			通信費	11,340		
			式典ポスタ	12,915		
			総会用酒代	22,860 (カワセン酒)		
			事務費雑費	15,031		
H18年度	収入	355,971	支出	265,305	収支	90,606
	OB会補助	100,000	印刷発送費	196,875		
			通信費	4,600		
			事務費雑費	15,599		
			SO熊本補助他	48,231		

H16年度～H18年度収支差額 220,418円